

# 生徒指導だより

令和2年7月3日  
岐阜清流高等特別支援学校  
生徒指導部



学校が再開し、約1ヶ月が過ぎました。校内は、新型コロナウイルス感染症対策のため、仲間との距離を保ったり、大きな声も出せなかったりする状況ですが、生徒たちの元気な挨拶や話し声が聞こえ活気にあふれています。

1年生は学校生活ガイダンスや専門コース体験、部活動等を通して、少しずつ学校生活に慣れ、新たな友だちとの関わりも増えてきました。2年生は上級生となり、登校時の挨拶など以前にも増して積極的にしています。そして、最上級生となった3年生は、いよいよ現場実習を迎え、そこへ向かう緊張感が伝わってきます。3つの学年が、将来の自己実現に向けて取り組む仲間となり、互いに切磋琢磨しながら努力していくことを期待しています。

## 【保護者の皆様へ】～生徒指導部について～

本校は、校訓の「自立」「共生」「自己実現」の精神のもと、地域社会に貢献できる人材の育成を目指しています。生徒指導部は、その校訓の理念を受け、以下のことに重点を置いて指導します。

- 規範意識を高めるための生活指導や生徒指導
- 被害者にも加害者にもならないための交通安全教育や情報モラル教育
- 互いを認め合う人権意識を育み、いじめの未然防止につなげる人権教育
- 不安や心配、困りごとを気軽に相談できる教育相談
- 自己有用感や存在感を育む生徒会活動支援と教育の場としての部活動指導



本校の生徒指導では、卒業後の社会自立を目指し、学校教育のあらゆる場面を通して、特にルールやマナーという視点を重視し指導を行っています。生徒達には、「今（現在）」を大切にしつつも、自身の「先（将来）」に少しでも早く目を向け、学校や家庭での生活を送ってほしいと願っています。

そのために私たち教員は、生徒達が社会人（働く人）となったときに、胸を張って新たな環境で生きていけるよう、一人一人の人格を認めながら、必要となる能力や態度を身につけられるよう指導します。

保護者とよりよい関係を築き、連携していくことが大切であると考えますので、ご理解とご協力をお願いします。

## 命の大切さを学ぶ教室

6月18日（木）に、不慮の交通事故によりお子さんの命を亡くした則竹崇智さんを講師としてお招きし、事故当時のことについて話を聞きました。当時の新聞記事、事故に関わる動画や事故時の遺品などを見ながら、その時の家族の気持ち、加害者への思いなどを鮮明に話していただき、それぞれが自他の命について真剣に向き合う貴重な機会となりました。終了後の感想では、「命の尊さを知った」「家族や仲間を大切にしたい」など、多くの生徒が自身の生活に照らし合わせながら考えることができました。

